

60歳以上の女性の美容医療トラブルが高額化！

施術内容や費用、リスクについて十分な説明がないまま、即日契約・施術されるケースも少なくありません。

全国の消費生活センターに寄せられた美容医療サービス（医療脱毛、脂肪吸引、二重まぶた手術など）に関する相談をみると、60歳以上の相談件数は2014年度がピークであるものの、契約購入金額が年々高額化しています。

自由診療が中心である美容医療では、施術費用は個々のクリニックで自由に設定できます。しかし、注射を数本打たれ、1000万円前後の請求を受けた事例など、深刻な高額請求トラブルが60歳以上の女性を中心に発生しています。また、料金が明確な基準に基づいて請求されているのか不明である事例など、費用に関するトラブルが目立ちます。

美容医療は本人がやりたい

★消費生活センター業務時間
時間・場所
月～金 8時30分～17時
(来所は9時～16時)
本庁舎1階 消費生活相談室
相談専用電話 ☎ 574-2233

姿を実現するための施術であることから、医師による十分な説明のもと、本人が納得して施術に同意することがより重要になります。しかし、施術内容や費用、リスクについて十分な説明がなく、納得しないまま即日契約・即日施術をさせられてしまうケースが少なくありません。

相談事例

- しわ伸ばしのためにクリニックに行ったら即日施術され、約1300万円を請求された。
- 目の下のたるみを取る注射をしたが、5年間保証なのに全く効果がなく、対応もされない。

消費者へのアドバイス

施術内容や費用、リスクを十分に確認し、想定した金額より高額な料金を提示された場合は、契約しないことを伝えましょう。特に、希望しない即日施術ははっきり断りましょう。やむなく高額な契約をしてトラブルとなった場合は、伊達市消費生活センターに相談にご相談ください。

地域の魅力 ふる里再発見

遺跡が語る中世の伊達①

第4回 寺院跡から見える伊達家の政策

今回は、宮脇廃寺跡から出土した半裁菊花唐草文軒平瓦についてお話ししました。宮脇廃寺跡から発見された瓦は、伊達氏と室町幕府が互いに連携を求めたことを示すものであることを見てきました。

今回は、この半裁菊花唐草文軒平瓦が発見された他の遺跡について紹介します。この瓦は、宮脇廃寺跡・茶臼山西遺跡・舟橋遺跡といった、伊達市内の3つの遺跡から見つかっています。

茶臼山西遺跡は、梁川城跡の南東に位置する遺跡で、東昌寺というお寺の跡だと考えられている遺跡です。東昌寺は伊達家の中でも大切な寺院でした。室町時代、京都相国寺の僧、瑞溪周鳳が記した日記には、伊達郡には300余りの寺があり、その中でも東昌寺を含む五つの寺は、伊達家の菩提寺であることを記しています。また東昌寺には、200人もの僧が務めていたとも記されています。このことから東昌寺が伊達氏にとって大切な寺院であったことが分かります。

舟橋遺跡は、伊達市役所保

原本庁舎周辺の遺跡で、伊達氏の関連した寺院か、館の跡と考えられている遺跡です。舟橋遺跡は鎌倉時代の早い段階から機能し、室町時代に大きな改修をされ使われていたことが発掘調査から明らかになっています。

これらの遺跡は、伊達氏が室町時代の初め頃、大事な寺院の改修を行った形跡を示している可能性が考えられます。室町幕府との協調政策を進めた伊達氏が、室町幕府との深い関係を示す瓦を掲げた寺院を造営していたことを物語るのかもしれない。



東昌寺跡（茶臼山西遺跡）の瓦